

# 2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

2024年10月30日  
神奈川中央交通株式会社

# 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算概要

---

## 2025年3月期第2四半期(中間期) 決算実績

## 【対前年】

- ◆売上高は、旅客自動車事業が牽引、全セグメントにおいて、対前年増収(+4.2%)
  - ・ 前期に実施したバス・タクシー事業の運賃改定効果が通期寄与
- ◆営業利益は、増収により増益(+32.4%)
  - ・ 運転職をはじめとした待遇改善や、コロナ禍に抑制していた設備投資や修繕工事等を実施
  - ・ 不動産事業は賃貸施設の大規模修繕等により減益
  - ・ 一方、設備の稼働時期や修繕工事の実施時期について遅延の傾向
- ◆各段階利益で増益
  - ・ 経常利益(+30.9%)
  - ・ 親会社株主に帰属する中間純利益(+80.7%)
    - ▶コロナ禍以降の業績回復を勘案し、繰延税金資産の一部を再計上

## 【対予想】

- ◆ 2024年4月の期初予想値および8月の修正予想値のいずれも上回り、増収増益

## 2025年3月期 連結業績予想・配当予想

- ◆連結業績予想は、期初予想値(2024年4月公表)から増収増益へ上方修正
  - ・ 売上高は、旅客自動車事業や自動車販売事業が堅調に推移し、対期初予想値で増収(+2.9%)
  - ・ 営業利益は、増収に加え修繕費や減価償却費などの諸費用の減少を見込み、増益(+36.1%)
  - ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、既存施設に関する解体工事等の原状回復費用の発生を織り込むものの、増益(+19.7%)
- ◆配当予想は、期初予想値を据え置き、年間配当金は1株当たり80円を予定

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
売上高	59,271	56,885	2,386 (4.2%)
旅客自動車事業	29,276	27,302	1,974
不動産事業	3,235	2,833	402
自動車販売事業	17,360	16,953	407
その他の事業	15,183	14,263	919
調整額	△ 5,784	△ 4,467	△ 1,316
営業利益	5,078	3,836	1,242 (32.4%)
旅客自動車事業	2,605	1,340	1,264
不動産事業	1,278	1,416	△ 137
自動車販売事業	864	749	115
その他の事業	528	461	66
調整額	△ 198	△ 131	△ 67
経常利益	5,253	4,013	1,239 (30.9%)
親会社株主に帰属する中間純利益	4,635	2,564	2,070 (80.7%)
1株当たり中間純利益	377.76円	209.01円	168.75円

2025年3月期 第2四半期業績予想 (2024年4月公表額)	増減
56,200	3,071 (5.5%)
29,030	246
3,100	135
14,860	2,500
15,650	△ 466
△ 6,440	655
2,990	2,088 (69.9%)
1,400	1,205
1,120	158
270	594
510	18
△ 310	111
2,940	2,313 (78.7%)
2,690	1,945 (72.3%)
219.21円	158.55円

減価償却費	2,615	2,604	10
EBITDA(営業利益+減価償却費)	7,693	6,440	1,253

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減・主な要因
営業外収益	422	397	24 (6.2%) その他営業外収益+34 助成金収入△20
営業外費用	247	220	27 (12.4%) 支払利息+25
特別利益	222	61	161 (263.0%) 補助金収入+132 固定資産売却益+45
特別損失	430	332	98 (29.6%) 固定資産圧縮損+120 固定資産除却損+43 減損損失△71

(単位:百万円)

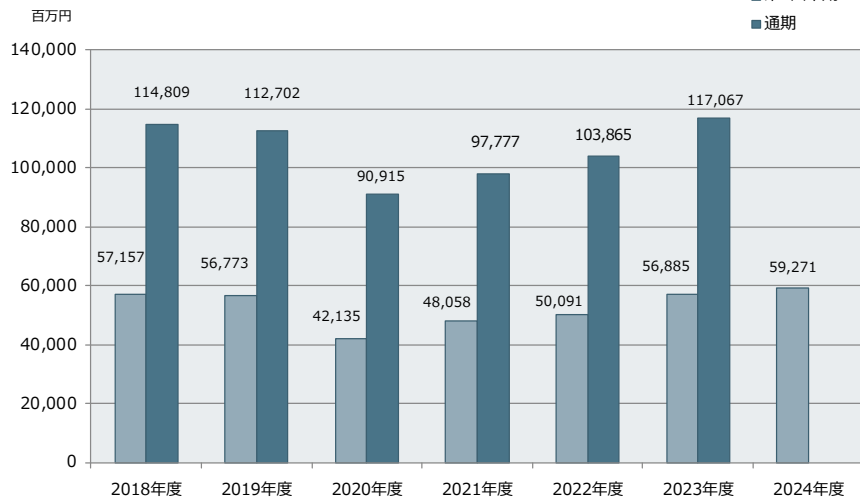
	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期	増減・主な要因	
流動資産	28,518	30,075	△ 1,556 (△ 5.2%)	受取手形、売掛金及び契約資産△1,299
固定資産	128,223	129,115	△ 892 (△ 0.7%)	投資有価証券△2,115 有形固定資産+1,401(建物及び構築物他)
資産合計	156,742	159,191	△ 2,448 (△ 1.5%)	
流動負債	47,931	49,346	△ 1,414 (△ 2.9%)	支払手形及び買掛金△1,954 その他の流動負債△428(未払金他) 短期借入金+1,325
固定負債	46,166	50,138	△ 3,972 (△ 7.9%)	長期借入金△2,336 その他の固定負債△1,570(繰延税金負債他)
負債合計	94,097	99,484	△ 5,387 (△ 5.4%)	
純資産合計	62,644	59,706	2,938 (4.9%)	利益剰余金+4,144 その他有価証券評価差額金△1,510
負債純資産合計	156,742	159,191	△ 2,448 (△ 1.5%)	
1株当たり純資産額	4,664.23円	4,449.74円	214.49円	
自己資本比率	36.5%	34.3%	2.2P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	54,880	56,338	△ 1,458	借入金△1,010 リース債務△447

※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首より適用しており、2024年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡及適用した後の数値になっております。

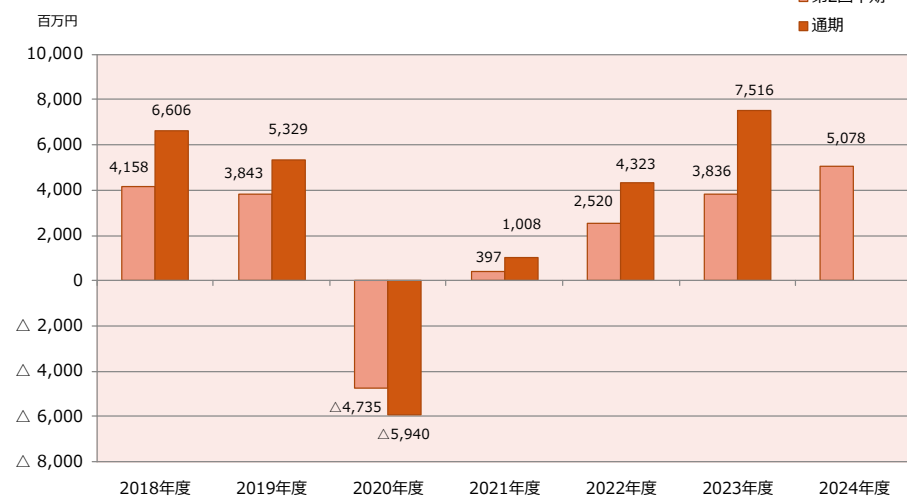
(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減・主な要因	
営業キャッシュ・フロー	6,594	6,562	32 (0.5%)	棚卸資産の増減額+2,205 仕入債務の増減額△1,679
投資キャッシュ・フロー	△ 4,875	△ 1,651	△ 3,223 (△ 195.2%)	固定資産の取得による支出△3,191
財務キャッシュ・フロー	△ 1,987	△ 4,742	2,755 (58.1%)	短期借入金の純増減額+2,762
現金及び現金同等物の増減額	△ 268	168	△ 436 (△ 259.5%)	
現金及び現金同等物の期末残高	2,900	2,789	111 (4.0%)	
フリーキャッシュ・フロー	1,719	4,911	△ 3,191 (△ 65.0%)	

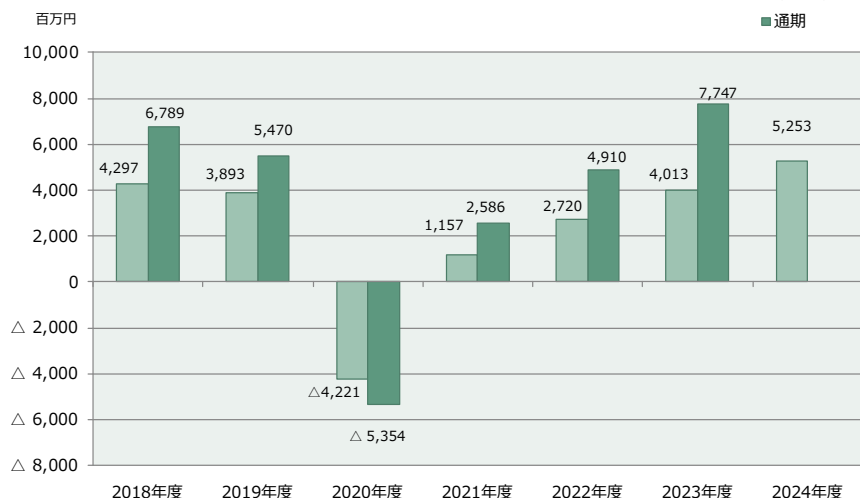
## 売上高



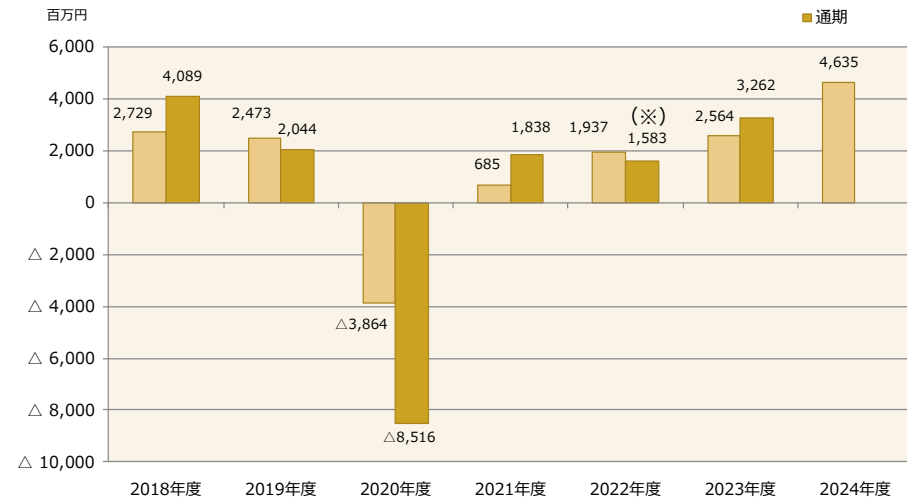
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する中間純利益



※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首より適用しており、2022年度通期実績について、当該会計基準等を遡及適用した後の数値になっております。



神奈川中央交通グループ 子会社17社、関連会社2社  
うち 連結子会社 17社  
持分法適用会社 1社 (大山観光電鉄(株))

## 〈主な連結会社〉

### ■ 旅客自動車事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

### ■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

### ■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

### ■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事(※)、(株)神奈中スポーツデザイン、  
(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

※2024年7月1日に(株)アドベルは(株)神奈中商事を吸収合併し、「(株)神奈中商事」に商号を変更いたしました。

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減・主な要因		2025年3月期 第2四半期業績予想 (2024年4月公表額)	増減
売上高	29,276	27,302	1,974 (7.2%)	乗合バス事業+1,307 貸切バス事業+130 タクシー事業+536	29,030	246 (0.8%)
営業利益	2,605	1,340	1,264 (94.4%)	乗合バス事業+1,109 貸切バス事業+115 タクシー事業+39	1,400	1,205 (86.1%)

## 【対前年】

乗合バス事業は、前期に実施した運賃改定効果が通期寄与し、増収増益  
貸切バス事業は、前期に運賃改定を実施したことにより一車当たり収入が増加し、増収増益  
タクシー事業は、積極的な採用活動に努め、乗務員の確保が進んだことにより稼働率が上昇し、増収増益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

乗合バス事業は、旅客需要が想定を上回り推移したことや、減価償却費の減少により増収増益  
貸切バス事業は、乗務員採用未達の影響により稼働率は減少したものの、運賃改定効果が想定を上回ったことにより増収増益  
タクシー事業は、営業単価の増加により増収増益

※参考 乗合バス事業輸送人員

(単位:百万人)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減率
定期外	69	71	△ 3.5%
定期	35	32	8.9%
合計	104	104	0.4%

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減・主な要因		2025年3月期 第2四半期業績予想 (2024年4月公表額)	増減
			増減 (%)	主な要因		
売上高	3,235	2,833	402 (14.2%)	賃貸事業△18 分譲事業+420	3,100	135 (4.4%)
営業利益	1,278	1,416	△137 (△9.7%)	賃貸事業△204 分譲事業+66	1,120	158 (14.2%)

## 【対前年】

賃貸事業は、新規賃貸施設をオープンしたものの、一部テナントへの賃料減額や修繕費の増加などにより減収減益  
分譲事業は、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数が増加したことにより増収増益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

賃貸事業は、賃貸施設の修繕費が減少したことなどにより増益  
分譲事業は、戸建の販売戸数が増加したことにより増収増益

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減・主な要因		2025年3月期 第2四半期業績予想 (2024年4月公表額)	増減
売上高	17,360	16,953	407 (2.4%)	商用車販売事業△152 輸入車販売事業+559	14,860	2,500 (16.8%)
営業利益	864	749	115 (15.5%)	商用車販売事業+144 輸入車販売事業△28	270	594 (220.3%)

## 【対前年】

商用車販売事業は、新車販売台数の減少により減収、車両整備収入の増加により増益

輸入車販売事業は、販売単価が上昇したことに加え、中古車販売台数の増加により増収、仕入原価増により減益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

商用車販売事業は、高価格帯である大型トラックの新車販売台数が増加し、増収増益

輸入車販売事業は、販売単価が増加したことにより増収増益

※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減
トラック	876	1,036	△ 160
バス	41	53	△ 12
輸入車	238	256	△ 18

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減・主な要因		2025年3月期 第2四半期業績予想 (2024年4月公表額)	増減
			増減 (%)	増減 要因	増減 (%)	増減 (%)
売上高	15,183	14,263	919 (6.4%)	流通事業+1,614 ビル管理事業+85 飲食事業△503 商用車架装事業△85	15,650	△ 466 (△ 3.0%)
営業利益	528	461	66 (14.5%)	流通事業+75 ビル管理事業+15 飲食事業+6 商用車架装事業△2	510	18 (3.6%)

## 【対前年】

流通事業は、バス運賃箱等の部品販売が増加したことなどにより増収増益  
 ビル管理事業は、金融機関等における設備工事の受注が増加したことなどにより増収増益  
 飲食事業は、前期に不採算店舗を閉店したことなどにより減収増益  
 商用車架装事業は、カプラ架装の受注や部品販売が減少したことなどにより減収減益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

流通事業は、バス運賃箱等の部品販売が時期ずれしたことにより減収、空調設備工事の受注が増加したことなどにより増益  
 ビル管理事業は、金融機関等における設備工事の受注が増加したことなどにより増収増益  
 商用車架装事業は、カプラ架装の受注が減少したことなどにより減収減益

# 2025年3月期 業績予想 (2024年10月30日公表値)

---

(単位:百万円)

	2025年3月期 業績予想 (2024年10月公表値)	2024年3月期	増減	2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表値)	増減
売上高	116,600	117,067	△ 467 (△ 0.4%)	113,300	3,300 (2.9%)
旅客自動車事業	57,230	54,967	2,262	56,790	440
不動産事業	7,310	6,130	1,179	7,420	△ 110
自動車販売事業	36,570	37,387	△ 817	33,660	2,910
その他の事業	30,020	29,385	634	29,800	220
調整額	△ 14,530	△ 10,803	△ 3,726	△ 14,370	△ 160
営業利益	6,150	7,516	△ 1,366 (△ 18.2%)	4,520	1,630 (36.1%)
旅客自動車事業	2,600	3,027	△ 427	1,790	810
不動産事業	1,970	2,570	△ 600	1,800	170
自動車販売事業	1,010	1,176	△ 166	410	600
その他の事業	990	954	35	970	20
調整額	△ 420	△ 211	△ 208	△ 450	30
経常利益	6,270	7,747	△ 1,477 (△ 19.1%)	4,420	1,850 (41.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,310	3,262	1,047 (32.1%)	3,600	710 (19.7%)
1株当たり当期純利益	351.22円	265.88円	85.34円	293.36円	57.86円
減価償却費	5,410	5,251	158		
資本的支出	15,760	7,431	8,328		
EBITDA(営業利益+減価償却費)	11,560	12,767	△ 1,207		

(単位:百万円)

	2025年3月期 業績予想 (2024年10月公表値)		2024年3月期		増減・主な要因		2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表値)		増減	
売上高	57,230	54,967	2,262 (4.1%)	乗合バス事業+1,323 貸切バス事業+223 タクシー事業+715	56,790	440 (0.8%)				
営業利益	2,600	3,027	△ 427 (△ 14.1%)	乗合バス事業△487 貸切バス事業+149 タクシー事業△89	1,790	810 (45.3%)				
減価償却費	3,390	3,046	343		3,760	△ 370				
資本的支出	12,870	5,548	7,321		13,190	△ 320				

## 【対前年】

前期に実施した運賃改定が通期寄与し増収、待遇改善による人件費の増加や設備投資拡大に伴う減価償却費の増加により減益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

乗合バス事業は、旅客需要が想定を上回り推移することや、減価償却費の減少により増収増益

貸切バス事業は、乗務員採用未達の影響により稼働率が減少し減収、稼働減に伴う燃料費などの減少により増益

タクシー事業は、営業単価の増加により増収増益



(単位:百万円)

	2025年3月期 業績予想 (2024年10月公表値)		2024年3月期		増減・主な要因		2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表値)		増減	
売上高	7,310	6,130	1,179 (19.2%)	賃貸事業△46 分譲事業+1,226	7,420	△ 110 (△ 1.5%)				
営業利益	1,970	2,570	△ 600 (△ 23.4%)	賃貸事業△603 分譲事業+3	1,800	170 (9.4%)				
減価償却費	1,040	1,048	△ 8		990	50				
資本的支出	1,620	1,434	185		1,720	△ 100				

## 【対前年】

賃貸事業は、新規賃貸施設をオープンしたものの、一部テナントへの賃料減額や修繕費の増加などにより減収減益  
分譲事業は、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数の増加により増収増益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

賃貸事業は、一部テナントの空室や賃料減額などにより減収、修繕工事の時期ずれなどにより増益  
分譲事業は、戸建の販売戸数の増加により増収増益

(単位:百万円)

	2025年3月期 業績予想 (2024年10月公表値)		2024年3月期		増減・主な要因	
売上高	36,570	37,387	△ 817 (△ 2.2%)	商用車販売事業△1,004 輸入車販売事業+187	33,660	2,910 (8.6%)
営業利益	1,010	1,176	△ 166 (△ 14.1%)	商用車販売事業△56 輸入車販売事業△110	410	600 (146.3%)
減価償却費	470	470	△0		510	△ 40
資本的支出	1,010	364	645		960	50

## 【対前年】

商用車販売事業は、新車販売台数の減少により減収減益  
 輸入車販売事業は、販売台数が増加し増収、仕入原価増により減益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

商用車販売事業は、大型トラックやバスを中心に販売単価増により増収増益  
 輸入車販売事業は、高価格帯の販売台数が増加し増収増益

(単位:百万円)

	2025年3月期 業績予想 (2024年10月公表値)	2024年3月期	増減・主な要因		2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表値)	増減
	売上高	30,020	29,385	634 (2.2%)	流通事業+1,831 商用車架装事業+75 飲食事業△916 レジャー・スポーツ事業△175	29,800
営業利益	990	954	35 (3.7%)	商用車架装事業+42 レジャー・スポーツ事業+26 飲食事業△29	970	20 (2.1%)
減価償却費	500	686	△186		580	△80
資本的支出	610	316	293		4,900	△4,290

## 【対前年】

流通事業は、バス運賃箱等の部品販売の増加などにより増収  
 飲食事業は、前期に不採算店舗を閉店したことや、ドーナツ店の店舗改装工事により減収減益  
 レジャー・スポーツ事業は、不採算店舗を閉店したことにより減収増益  
 商用車架装事業は、部分架装の受注が増加し増収増益

## 【対予想(2024年4月公表値)】

流通事業は、バス運賃箱等の部品販売が増加し増収増益  
 ビル管理事業は、金融機関等における設備工事の受注が増加し増収増益

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 IR担当 TEL:0463-22-8894